

こくりにゆうだより



6月号

大阪府立池田高等学校 2年 国友 あかり
「雨の多い季節になってきましたね。生き生きとしているカエルの気持ちをイメージして描いてみました。」

豊中市SDGsパートナーにとよなが国際交流協会が登録されました！

豊中市は、SDGs(持続可能な開発目標)の達成に向けて優れた取り組みを提案する都市である「SDGs未来都市」に選定されています。

この度、SDGsのゴールの達成や地域課題の解決に向けて取り組む団体として、当センターの指定管理者である(公財)とよなが国際交流協会が登録されま

した。協会の基本理念である『市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域から進め、世界とつながる多文化共生の社会をつくる。』を大事にしながら、今後も様々な課題解決に取り組んでいきたいと思ひます。

登録団体一覧や各団体の取り組みの内容については、豊中市ホームページ(右バーコード)から見るができます。ぜひご覧ください。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



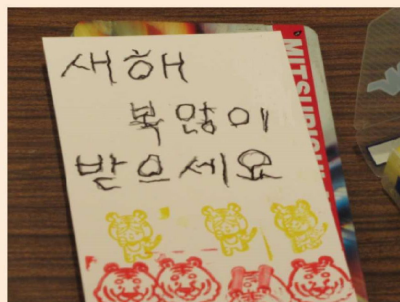
『韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい』今年度もスタートします！

「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」は、韓国・朝鮮につながりのある子どもたちが、民族講師（ソンセンニム）から民族の文化や遊びなどを学び、体験することを通じて、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場です。豊中市内小中学校の先生方による実行委員会が中心となり「つどい」の運営を進めています。

毎月1回、こどもの日やお正月など、季節の行事に合わせた取り組みをとよなか国際交流センターで行っています。他にもハギハッキョ(夏期学校)やキャンプなど、センター以外での活動も行っています。



ゲームをしながら数字を何度も声に出して言いました。



ハングルで年賀状を書きました。

この2年間は新型コロナウイルスの影響で思うような活動ができませんでした。でも、継続は力なり！今年度も実行委員会の先生方と一緒に、子どもたちが安心して来ることができるような場を整えていきたいと思います。（協会職員・大庭みゆき）

ボランティア研修「地域の日本語交流現場から一教材の活用方法と活動の実際」を開催しました

4月10日（日）から三週にわたり、ボランティア研修を開催しました。この研修は、一昨年度から新たに始まった日本語交流活動である「南部日本語」・「オンライン日本語（つながれとよなかオンライン!）」のボランティア養成と日本語ボランティアのフォローアップを兼ねて実施しました。協会事業の日本語ボランティアだけでなく、センターを拠点として活動する日本語自主グループの皆さんにも参加を呼びかけました。「南部日本語」「オンライン日本語」は、大阪府で開発された地域日本語教室向けの日本語学習教材テキストを使用することを基本としています（いずれも大阪府ホームページよりダウンロードし、教室で自由に使うことができます）。研修では、そのテキストの執筆者の方から発行のねらいや使い方についてお話を伺うと共に、実際に上記2つの日本語事業で活動しているボランティアからのお話・活動の様子のビデオ視聴を通じて理解を深めました。



第1回講師・亀田美保さん



第2回講師・矢谷久美子さん



第3回・現役ボランティアの皆さん

4月10日（日）は、大阪府で開発された「地域で学ぶ日本語学習教材『話して書いて伝え合う私のこと・あなたのこと』発行のねらいと使い方について」と題して、執筆者のひとり、講師の亀田美保さん（大阪YMCA日本語センターセンター長）から、教材作成の土台となる考え方や教材の活用方法についてお聞きしました。4月17日（日）は、「地域での日本語交流を考えるー『書いてまねしてはなして』発行のねらいと活用方法」として、講師の矢谷久美子さん（日本語教育支援グループ「ことのは」理事長）から、地域の日本語活動の役割や教材の具体的な使用方法についてお話がありました。

2つの講座の中で強調されていたのは、「学習者が日本語での自己表現ができるようになること」や「ボランティアや学習者同士の関係をつくっていくこと」が教材作成のねらいとされていたということです。また、それぞれの教材について、具体的な使い方の説明があったことで、参加者からも普段日本語交流活動に関わっているからこそ疑問に思われるような点についての質問がありました。

4月24日（日）は、「実際の活動を知ろうーテキストを用いながらの日本語交流活動 現場より」と題して、「オンライン日本語（つながれとよなかオンライン!）」ボランティアの皆さんから実際の活動の様子や活動を通じて感じたことなどをざっくばらんにお伝えいただきました。また、「南部日本語」の実際の活動の風景をまとめた動画を視聴し、庄内公民館での活動の雰囲気を知ることができました。参加者からは、「具体的な活動の様子が分かった」「学習の楽しそうな雰囲気が伝わってきた」などの感想がありました。（協会職員・山本房代）



以前取材で、「どんなふうにアドバイスをしますか？」と聞かれ、返答に困りました。相談対応のイメージは的確なアドバイスなのでしょか。

「情報提供」はアドバイスの一つです。相談者が抱える問題に必要な情報や解決手段を提供するという意味で、アドバイスは相談者が求めるものでしょう。

これはなかなか奥深いトピックです。それは本当に的確な情報なのか？その解決方法は相談者が選択・利用可能なのか？そもそも、それが相談者の中核的な問題なのか？そして相談者は求めているのは、「アドバイス」なのだろうか？

Aさんは、あることに挑戦しようとしていました。しかし具体的にどういうものかは知らなかったので、日本語で書かれた資料の内容を教えてほしいと相談に来ました。私はそれを読み、説明しました（これは「情報提供」です）。でも私は、Aさんは何か引っかかっているように感じ取りました。Aさんの言葉や話すタイミング、すっきりとしていない表情や雰囲気をとらえたものです。そこで私は、「何か引っかかりがありますか？」と聞いていきました。ゆっくり、じっくりと進めていくと、Aさんが抱えている大きな問題が背後にあることが見えてきました。本当の主訴はそこにあったのです。ここで対応の方向を変える必要がありました。Aさんが自分の心と対話できるようにしていきました。その挑戦が持つAさんにとっての意味は何か。本当はどうしたいか。そして実際にどうするか。こういう対話をへて、Aさんはその挑戦ではない、別の選択をしました。スッキリとした表情で。

Bさんの相談は、「〇〇をしたいけれど、言葉ができないので手伝ってほしい」という具体的なものでした。しかし私は違和感を持ったと同時に、Bさんの緊張感を感じました。「お手伝いできますが、どうして〇〇をしたいか教えてもらえませんか」と聞き進めていくと、それしか方法がないと思うほど追い詰められたBさんの困難が明らかになりました。でもBさんの語りにはまだ緊張感があります。固い表情です。私は、過剰に背負おうとしているBさんの生き様、そういうふうにしかなることができなかった孤独感に近づき、寄り添えるよう、対話を進めていきました。するとBさんの目から涙があふれ、ようやく、緊張がほぐれていきました。そうしてやっと、Bさんは〇〇をしなくてもいいのだと受け止めることができ、結局、〇〇はしないという決断をして帰りました。

どちらも、最初に求めてきた「情報提供」とは異なる展開をしたケースです。

これを読み解いていくのが相談対応だと考えています。相談者が話した内容だけではなく、話し方や表情、雰囲気などに注意することで、本質が見えてきます。そうすることで、相談者自身が自分の心に近づき、本当のテーマが浮かび上がってきます。

私はアドバイスを基本的に行いません。それは、こんなふうに聞き進めていくからであり、本当の答えは、相談者自身が持っているからです。

＼報告／ 若者のたまりばの活動について

外国にルーツを持つ若者(高校生～30歳代)の交流の場として第1日曜日を除く毎週日曜日の17時～20時に活動している「若者のたまりば」。以前は毎回食事を作って食べたり、年に数回地域のイベントに出店したりしていましたが、コロナ禍の影響で従来通りの活動ができなくなりました。



飲食自粛中は色んな遊びで交流しました

そんな中でも若者たちは楽しめる遊びを工夫し、感染状況が落ち着いている時期には対人距離を取るなどの対策をしながら調理活動にも取り組んでいます。4月には専門学校へ入学する若者のお祝いを兼ねてお花見をしました。



タコスを作りました。久しぶりの料理！

参加者から「落ち着く」「気分転換できる」「やりたいことを決められる」と表現される「若者のたまりば」。新しい参加者も募集中です。(協会職員・石田みどり)

2022

6月の事業開催カレンダー

※コロナウイルス感染症対策のため、予告なく変更となる場合があります。
記載のない定例事業については、とよなか国際交流協会にお問い合わせください。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
30 もっも 相談	31 おやこ 相談 こんばす	01 休館日	02 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	03 金あさ にこにこ 相談 こんばす	04 相談 子どもに教える日本語講座 13:00~16:00	05 がちゃ 南部
06 もっも 相談	07 おやこ 相談 こんばす	08 休館日	09 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	10 金あさ にこにこ 相談 こんばす	11 相談	12 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
13 もっも 相談	14 おやこ 相談 こんばす	15 休館日	16 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	17 金あさ にこにこ 相談 こんばす	18 相談	19 がちゃ サンプル 若者 南部
20 もっも 相談	21 おやこ 相談 こんばす	22 休館日	23 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	24 金あさ にこにこ 相談 こんばす	25 つどい 相談	26 がちゃ 母語 サンプル 若者 南部
27 もっも 相談	28 おやこ 相談 こんばす	29 休館日	30 千里 木ひる にこにこ 相談 オンライン	01	02	03

※2021年11月~2022年11月末は空調設備改修工事のため貸室がご利用いただけません。それに伴い、すべての貸室利用を中止いたします。
◆赤字表記の活動については、活動内容を変更している場合があります。詳しい情報については、とよなか国際交流協会へお問い合わせください。

センターが主催する定例事業

月曜日	もっももっもつかえるにほんご ※ひらがな・かたかなが書ける人が対象 外国人のための多言語相談	10:00~12:00 11:00~16:00
火曜日	おやこでにほんご(千里・岡町・庄内の各図書館で実施) 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:00~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
木曜日	とよなかにほんご・木ひる 多文化こども保育にこにこ 千里にほんご(千里文化センターコラボで実施) 外国人のための多言語相談 オンライン日本語	13:30~15:20 13:30~15:30 10:00~11:30 11:00~16:00 19:00~20:00
金曜日	とよなかにほんご・金あさ 多文化こども保育にこにこ 外国人のための多言語相談 学習日本語こんばす	10:30~12:00 10:30~12:00 11:00~16:00 17:00~19:00
土曜日	韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい ※毎月第3土曜日のみ 外国人のための多言語相談	9:30~11:30 11:00~16:00
日曜日	にちょうがちゃがちゃだん こども母語※第2,4日曜日のみ 学習支援サンプルイス 若者のたまりば 南部にほんご(庄内公民館で実施)	10:00~12:00 10:00~12:00 13:00~15:00 17:00~20:00 13:00~15:00

今月のピックアップ

外国人のための日本文化体験 「浴衣(ゆかた)を着て写真をとろう！」

浴衣は日本の暑い時期に、普段着として着る和服のことです。お好きな柄の浴衣を選んでいただいた後、スタッフが着付けします。ご自身のカメラで自由に撮影もできます。ぜひご参加下さい。

日時:7月8日(金)13:30~16:00(1人40分、時間予約制)
会場:とよなか国際交流センター 和室
対象:外国人 参加費:無料 定員:6人(申込先着順)
申込:来館・メール・電話にて受付
atoms1@a.zaq.jp 06-6843-4343

とよなか国際交流センターおしらせ 「こくりゆうだより」第158号(2022年6月号)

発行元・問い合わせ:(公財)とよなか国際交流協会
住所:〒560-0026 大阪府豊中市玉井町1丁目1-1エトレ豊中6F
(阪急宝塚線豊中駅すぐ)
開館時間:9:00~21:30(水曜休館)
TEL: 06-6843-4343 FAX:06-6843-4375
E-Mail:atoms@a.zaq.jp WEB:http://www.a-atoms.info/

多言語情報も配信しています!

SNSも随時更新中!

「とよなか国際交流センター」で検索!

